

ベトナム株ファンド

これまでの運用状況と今後の見通しについて

2017年5月25日

お伝えしたいポイント

・ 第1期の投資環境

良好な投資環境を背景にベトナム株式市場は上昇

・ 今後の相場見通し ～4つのポイントに注目～

- ① 政府保有株放出や新規上場の加速
- ② 外国人投資家からの資金流入継続
- ③ 安定した経済と政策によるサポート
- ④ 新たな金融商品の導入による流動性向上

《基準価額・純資産の推移》

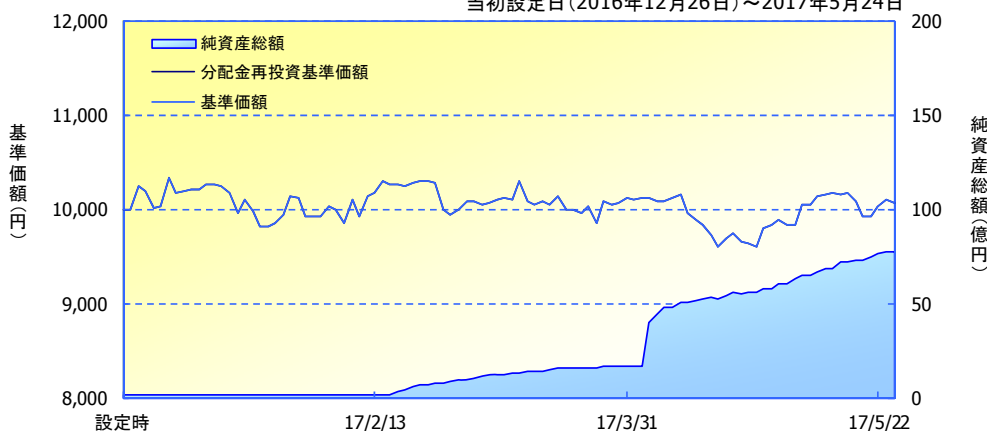
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2017年5月24日現在

当初設定日(2016年12月26日)～2017年5月24日

基準価額	10,071 円
純資産総額	77億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	+4.4 %
3カ月間	+0.7 %
6カ月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	+0.4 %
設定来	+0.7 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management

第1期の投資環境

良好な投資環境を背景にベトナム株式市場は上昇

設定来の期間において為替は下落したものの、株式市況が上昇したため、基準価額は小幅に上昇しました。

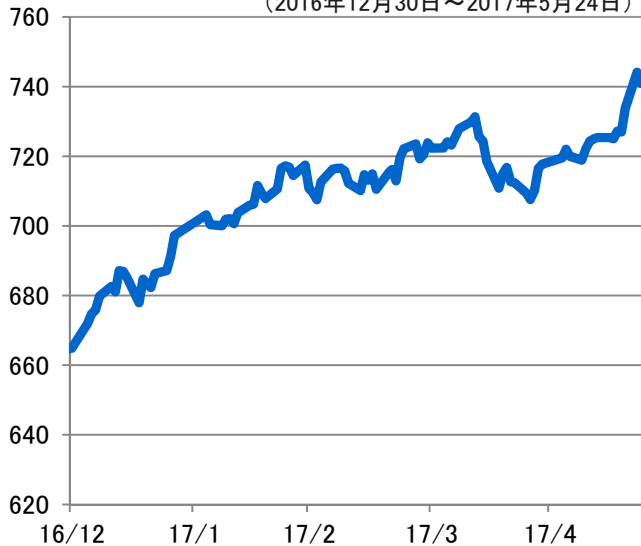
設定日から3月にかけて、株式市況は上昇する展開となりました。ノバランド(不動産開発業者)やベトジェットエア(航空会社)などの大型新規上場案件が投資家センチメントを後押ししたことがプラス要因となったことに加えて、2016年第4四半期の企業決算が好調であったことや、ビナミルク(ベトナム最大の乳製品メーカー)やホアファットグループ(鉄鋼メーカー)といった大型企業の2017年第1四半期の収益見通しが引き続きポジティブであったことが好感されました。外国人投資家からの資金流入が増加したこともポジティブに働きました。

4月に入ると、北朝鮮を巡る地政学リスクが強く意識され始め、利益確定圧力が強まったことがマイナス要因となり、下落基調となりました。その後は、株価バリュエーションに割安感が出てきたことや、良好な企業決算見通しなどが投資家センチメントを押し上げたことで、月末にかけて反発しました。5月以降は再び上昇基調を取り戻す展開となりました。2017年第1四半期の企業決算が好調であったことがプラス要因となった他、外国人投資家からの資金流入、ペトロリメックス(ベトナム最大の石油輸入・販売会社)の新規上場などが好材料でした。また、国会社会長在任時の違法行為の責任を問われていたホーチミン市のトップであるディン・ラ・タン市党委員会書記の解任問題がスムーズに進展し、ベトナム共産党中央委員会が同氏に対して党政治局員の任務を解くことを決定したことを受け、政治面の不透明感が後退したことも好感されました。

ベトナム・ドン(円)に対して下落しました。対米ドルでは上昇しましたが、トランプ相場の巻き戻しから米国金利が低下したことなどを受けて、対米ドルで円がさらに上昇したことなどが要因となりました。

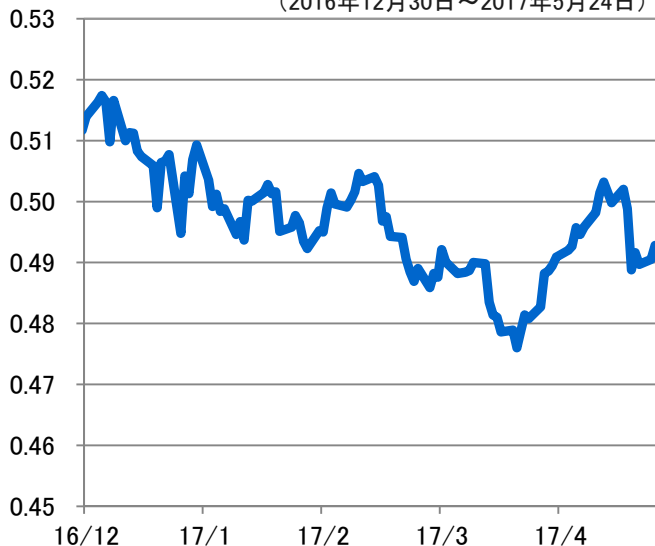
ベトナムVN指数の推移

(2016年12月30日～2017年5月24日)



為替の推移 (円/ベトナム・ドン(×100))

(2016年12月30日～2017年5月24日)



※ベトナムVN指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はホーチミン証券取引所に帰属します。

(出所)ブルームバーグ

今後の相場見通し ～4つのポイントに注目～

- ① 政府保有株放出や新規上場の加速
- ② 外国人投資家からの資金流入継続
- ③ 安定した経済と政策によるサポート
- ④ 新たな金融商品の導入による流動性向上

今後の相場見通しについては、以下の理由からポジティブに見ています。

① 政府保有株放出や新規上場の加速

政府関与率低下による効率化によって中長期的に企業の収益性が向上していくと期待されています。今後は、ビナミルク(ベトナム最大の乳製品メーカー)やベトナム空港(ベトナム唯一の空港運営会社)などの大型の政府保有株放出案件が予定されています。また、ビーム(大手農業機械メーカー)、やベトナム製薬総公社(製薬会社)などの新規上場も予定されており、市場の関心を集めています。

② 外国人投資家からの資金流入継続

現在、外国人投資家からの資金流入が継続していますが、新規上場や政府保有株放出の加速によって、より浮動株比率の高い大型株が増加することが見込まれることもあり、この傾向は当面続くとみられます。

③ 安定した経済と政策によるサポート

ベトナム経済は引き続き安定しています。GDP成長率に関しては、第1四半期の数値が5.1%となり、比較的低いものであったにもかかわらず、政府は2017年の目標値を6.7%に維持すると決定しました。政府機関は、成長を促進するための措置を提出するよう求められており、今後の政策によるサポートが期待されます。

④ 新たな金融商品の導入による流動性向上

ベトナムでは、6月に株価指数先物取引が開始される予定です。低流動性はベトナムに投資する外国人投資家にとって最大のハードルの1つとなっていますが、新たな金融商品の導入による流動性の高まりを通じて投資家心理の向上が期待できます。

今後の株式への投資にあたっては、経済情勢や業界動向などの分析を行うとともに、個別企業の財務状況、成長性、株価バリュエーション、流動性などを総合的に勘案してポートフォリオを構築していく予定です。セクターでは、引き続き若年層人口の多さと急速な都市化の進展による購買力の高まりから中長期的に恩恵を受けると考えられる生活必需品セクターに注目しています。また、鉄鋼需要の伸びや政策による国内企業のサポートが期待できる点を好感し、鉄鋼セグメントを引き続きポジティブにみています。その他では、特に、以下の点に注目しています。

- ① 新規上場の増加
- ② 外国人投資比率上限の引き上げや既存の投資枠の利用状況
- ③ 政府保有株の放出の進展
- ④ 店頭市場(UPCoM)からメジャーな株式市場へ移行する企業の増加
- ⑤ 中期的な注目ポイントとしてMSCI指数での「新興市場」への昇格

ベトナム株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

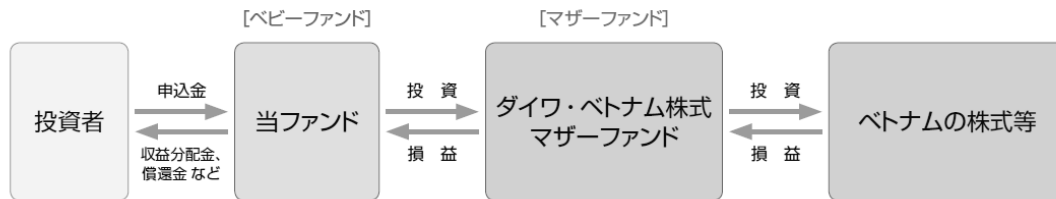
ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- ベトナムの株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- ベトナムの株式等に投資します。
※株式…DR（預託証券）を含みます。
◆株式への投資にあたっては、経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業の財務状況、成長性、株価バリュエーション、流動性等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。
◆ベトナムの株価指数に連動するETF（上場投資信託証券）およびベトナムの株価指数の値動きに償還価格が連動する債券（株価連動債）に投資を行なう場合があります。
- ベトナムの株式等の運用は、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドが行ないます。
◆マザーファンドにおける外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。
◆ベトナム株式への投資にあたっては、サイゴン証券株式会社の助言を受けます。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ベトナム株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限> 3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、 取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.7604% (税抜 1.63%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対し て左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計 算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オ プション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の 費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことが
できません。

- ※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
- ※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ベトナム株ファンド 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○		○
奈良証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			
日の出証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第31号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。